

20年の振り返りや事業の紹介は、今年度毎号連載している「高島市制20周年コーナー」に掲載しています。そちらもぜひご覧ください。
(今月号はP14-15)



高島市は20年を迎えました！

ハタチ×高島市

～二十歳の想い～

平成17年1月1日に5町1村が合併して誕生した高島市は、令和7年1月に20年の佳節を迎えました。

これまで市民の皆さんと一緒に築いてきた歴史や文化をさらに深め、ますます魅力的な高島市に向かって歩んでいきます。

今回は、同じく20歳になられた「二十歳の集い」実行委員のメンバー13人に、高島市への思いや20歳の決意を伺いました。

企画広報課 ☎(25)8130

^{ねい}
大森 寧さん

私は、高島市の夕方から夜にかけての空が好きで、友達とよく散歩をします。琵琶湖と山々に囲まれた自然の中で、星空を眺めながら、心癒される瞬間を日常的に得られることが魅力だと感じています。

^{あおぞら}
山本 青空さん

高島市制20周年の記念すべき年に20歳を迎えられてとてもうれしく思います。

高島市の良いところは、自然が豊かで、小さい頃から自然と触れ合う機会が多く、のびのびと成長できることです。

これから高島市に住み続けるかは分かりませんが、高島市の発展を期待しています！

^{けいた}
磯辺 慶太さん

20歳になり、やっと大人になれたという気分とともに責任という言葉がより一層重くなったと思います。20歳になったということはそれほどものだと実感しています。なので責任を感じながらも楽しく元気に生きたいと思います。また自分のことは自分です！そして少しずつ親孝行をしていこうと思います！！

^{りお}
田谷 莉桜さん

これまで大切に育ててくれた家族や、近くで支えてくれた友達や先生方、そして地域のお祭りなどを通して多くの方々と知り合い支えられました。

これからは社会の一員として自覚のある行動に努めていきたいと思っています。

^{まゆ}
岡田 茉優さん

私は、通学や帰宅するときに見ることができる高島の空の景色が好きです。背の高い建物が少ないことで空が広く見えるので、朝焼けや夕焼けをとても綺麗に見ることができ、つい写真に撮ってしまいます。

^{ともき}
中川 智喜さん

高島市20周年おめでとうございます。豊かな自然と箱館山からの眺めが大好きです。これからも市民や観光客の心を和ませる存在であり続けてください。私自身、若さを大切に、知的でたくましい人間を目指します。

^{だいき}
内田 大貴さん

私が約20年間過ごしてきた高島市での生活を一言で表すなら、安心できる場所だと思います。しんどい日々を終えた後や、どんなに楽しい旅行をした後でも、高島の地に足をつけた瞬間、心が休まるからです。私は、この複雑化する社会の中で、一人ひとりに心が休まる場所はなくてはならないと思います。私にとって高島市はそんな場所であり、これからも大切にしていきたいと思っています。

I ♥ Takashima



たかし
是永 宇志 さん

高島の好きなところは、
 大きいクレープ屋があると
 ころと、地元の人たちがと
 ても優しいところです。
 大学生活も残り半分にな
 ったところなので、1日
 1日を無駄にせず夢に向
 かって努力を怠らないよう
 にしていきたいと思います。



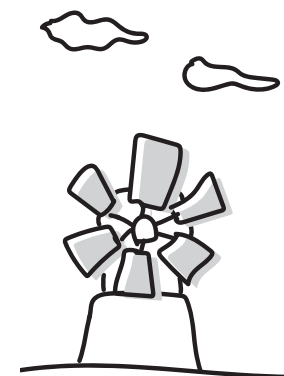
しおり
高木 葉 さん

20 歳という節目の歳を迎
 え、今まで自分を支えてく
 ださった全ての人に感謝の気持
 ちを伝えたいです。
 成人としての自覚と責任を
 持ち、社会に貢献できるよう
 勉学に励みます。これからも
 周りの人を大切に、少しづ
 つ恩返しをしていきたいです。



かのん
西川 佳音 さん

家族と自分のために何か一つ
 成功させて立派な経営者になる
 こと。そして今の高島市に足り
 ないものを僕が作っていこうと
 思っています。
 また好きなことをして生きて
 いくことが夢です。



じゅんな
辻 純菜 さん

20 年のほとんどを高島市
 で暮らしてきてますが、今で
 も高島市のきれいな自然を
 すごく気に入っています。最
 近は琵琶湖の近くにきれいな
 ドームのグランピング場がで
 き、他県の友達が高島市に遊
 びに来て自然を楽しんでいる
 のがすごくうれしいです。



あきと
齊藤 光人 さん

20 歳を迎え、自覚と責
 任を持って行動し、今後は
 チャレンジ精神を忘れず努
 力していきたいです。また
 親をはじめお世話になった
 全ての方々に感謝したいで
 す。



りき
井上 力 さん

20 歳になり、責任とい
 ういろいろなことを考えて行動
 しなければならないことを
 実感しました。
 これからも失敗を恐れず
 いろいろなことにチャレン
 ジをして、何か一つのこと
 を成し遂げ、立派な経営者
 になりたいです！

▼246 号
 (令和2年7月号)



表紙にはこだわりの写真
 を掲載。この号で県広
 報コンクール「写真の部」
 4年連続協会長賞受賞。

▼223号～
 (平成30年8月号～)



長らく2色だった表紙
 を年数回カラーにし、
 より見やすく。

アプリやホームペー
 ジでは 196 号から
 カラーにしています。

▼208号～
 (平成29年5月号～)



市民参加コーナー「み
 んなのページ」に写真・
 イラストコーナーを新
 設。

▼ 200 号
 (平成28年9月号)



200 号記念の広報誌。
 表紙の写真は、実際に
 200 号分の広報誌を庁
 舎に並べ撮影しました。

▼194号～
 (平成28年3月号～)



スマートフォンアプリで
 の配信開始。

アプリは
 こちらから



マチイロ

▼1号
 (平成17年創刊号)



高島市誕生後初の記念
 すべき広報誌。

広報たかしまの歩み

平成17年1月、高島市誕生とともに
 創刊した「広報たかしま」は、市制20
 年目を迎える今号、偶然にも記念すべ
 き300号となりました。
 300号を迎えることができました
 のも、広報誌の作成に対する市民の皆
 さんのご理解とご協力のおかげです。
 これからも毎号楽しみにしていただ
 けるよう、工夫しながら親しまれる広報
 づくりを目指します。

ありがとう、
広報たかしま 300号